

## 学習課題（小学校 6 年生）



【国語】計画を立てて、少しずつ取り組んでいきましょう。

### <学習内容>

◆「私たちにできること」（教科書 70～75 ページ）の続きに取り組み、調べたことや考えたことをノートや取組シートに書きます。

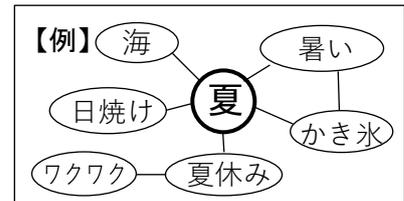
- (1) 74 ページの文章例を声に出して読みます。その後、72 ページの③にある「提案する文章の構成」に沿って、前回の(3)でノートや取組シートに書いた情報を使いながら提案する文章を書きましょう。

※敬体（～です。／～ます。）ではなく、常体（～だ。／～である。）で書きます。  
※「3.まとめ」の段落には、読み手に伝えたい「自分の思いや願い」、「読み手に訴えたいこと」などを書きます。

- (2) 書いた文章をお家の人に読んでもらい、感想を聞いてみましょう。

◆「夏のさかり」（教科書 76～77 ページ）に取り組みます。

- (1) 「夏」という言葉から思い浮かぶものやイメージを右の例のように書き出します。



- (2) 76 ページから 77 ページまでを読みましょう。

- (3) 76～77 ページにある三つの短歌・俳句を読んで、自分のお気に入り一つを選びます。

選んだ短歌または俳句をノートや取組シートに書き写して、気に入った理由をその横に書きましょう。

- (4) (1)で集めた、『夏』から思い浮かんだ言葉から使いたい言葉を選んで、短歌（五・七・五・七・七）や俳句（五・七・五）を作りましょう（どちらか一つでもよいです）。

- (5) 作った「夏の短歌（俳句）」をお家の人に読んでもらいましょう。

◆「私と本」「利用案内を読もう」で学習する予定の新出漢字（「胸」～「幼」）を練習します。（読み方や書き順などは、300 ページに載っています。）

### <保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・「私たちにできること」で書いた提案文は、教科書 P75 の「たいせつ」のポイントに沿って感想を伝えてあげてください。
- ・「夏のさかり」では、ぜひお子さんと一緒に短歌や俳句作りをして、楽しんでみてください。